県建設産業団体連合会総会

川畑会長再選　連絡協調体制の推進

県建設産業団体連合会（会長・川畑俊彦県建設業協会長）は17日、鹿児島市の県建設センターで第30回通常総会を開き、建設産業間の連絡協調体制推進などを柱とする新年度事業計画を決めたほか、任期満了に伴う役員改選では川畑会長を再選した。

総会では、川畑会長が「近年、財政事情は国、地方ともに悪化し、公共事業予算が大幅に縮減されている。建設業界を取り巻く環境は一段と厳しいが、公共事業の補正予算の計上を強く要請するとともに、会員の各団体が連絡を密にして、今年度も会員の経済的、社会的地位の向上、発展のために積極的な活動を図っていきたいのでご協力ください」と挨拶。

会員の経済的、社会的地位の向上、発展を――と挨拶する川畑会長＝鹿児島市の県建設センターで

続いて、川畑会長を議長に議事に入り、15年度事業報告・収支決算、16年度事業計画・収支予算案などを審議、すべて原案通り承認した。

新年度事業計画は、①建設産業間の連絡協調体制の推進②建設産業生産システム合理化の推進③適正な入札・契約制度、下請契約の推進④IT化等への積極的な取り組みの推進－など。

新役員は次の通り。

会長＝川畑俊彦（県建設業協会長）▽副会長＝上山一吉（県建築協会長）藤田護（県建設業協会種子島支部長）大平集一（県板金塗装工業協同組合理事長）加藤淳一（県積ブロック工業組合理事長）肥後勝司（県管工事業協会長）山ノ内文治（県電設協会長）大原達也（県建築士事務所協会長）上四元修（鹿児島建築工友会長）福田光一（県測量設計業協会長）小玉利英（県タイル工業協同組合理事長）▽監事＝上東信義（県建設業協会加世田支部長）中西伸一（県砕石協同組合連合会長）

県木造住宅推進協議会総会

取扱店のPR活動

県木造住宅推進協議会（川上道夫会長）は17日、鹿児島市のかごしま県民交流センターで16年度通常総会を開き、木の伐採現場の見学会開催や地材地建及びかごしま材取扱店のPR活動などを盛り込んだ新年度事業計画を決めた。

新年度事業計画を決めた総会＝鹿児島市のかごしま県民交流センターで

総会では初めに、川上会長が「当協会も今年で設立10周年を迎える。これまでの協会活動で、木造住宅の推進に着実な成果を上げることができたのではと考えています。今後も、今までの事業の継承はもとより、かごしま材の家づくり促進普及など新しい取り組みを行い、さらなる充実を図っていきたい」と挨拶。顧問の加藤憲一県土木部長代理の山下孝志建築技監が「県においては、ウッドタウンプロジェクトなどを推進していき、木造住宅の建設促進を図っていきたい。また、県民の木造住宅に対する関心は依然高いものがあることから、後継者育成など各種事業を積極的に推進する必要がある」と述べた。

引き続き、川上会長を議長に選出し議事に移り、15年度事業報告・収支予算、16年度事業計画・収支予算案など、すべて原案通り可決承認した。

新年度事業計画は、技能者育成機関広報冊子・リーフレットの作成や高校生や訓練生を対象に木の伐採現場の見学会開催、健康住宅推進事業のほか、新規事業として、地材地建及びかごしま材取扱店の広報PR、かごしま材の家づくりへの性能保証登録支援などかごしま材の家づくりの普及促進－などを掲げている。

通り可決承認した。このなかで、住まいと建築展では、パネル・模型等の展示やテーマ展示、新技術・新建材の展示、建築設計競技作品展示などが計画されているほか、講演会等も予定されている。開催日は、10月22日から24日の3日間で、場所は鹿児島市のかごしま県民交流センター。

新役員は次の通り。

会長＝加藤憲一（県土木部長）▽副会長＝川畑俊彦（県建設業協会長）大原達也（県建築士事務所協会長）上山一吉（県建築協会長）山下孝志（県土木部建築技監）▽理事＝角田正雄（鹿児島市建設局建築部長）牛之濱道久（県住宅供給公社理事長）肥後勝司（県管工事業協会長）横小路喜代治（県木材協会連合会長）松井謙太郎（県住宅・建築総合センター理事長）友清貴和（日本建築学会九州支部鹿児島支所長）白濱貫理（県経済農業協同組合連合会常務理事）吉留憲一（日本住宅パネル工事協同組合九州支所鹿児島営業所長）山下孝志（県建築行政連絡協議会長）安藤恒次（県住宅行政連絡協議会長）▽監事＝川上道夫（県建築士会長）山ノ内文治（県電設協会長）

県ゆとりある住まいと街づくり推進協議会総会

建築展は10月22日から

県ゆとりある住まいと街づくり推進協議会（会長・加藤憲一県土木部長）は17日、鹿児島市のかごしま県民交流センターで16年度通常総会を開き、毎年恒例の「住まいと建築展」を開催することなどの新年度事業計画を決定したほか、任期満了に伴う役員改選では加藤会長を留任とした。

新年度事業計画を決めた総会＝鹿児島市のかごしま県民交流センターで

総会では、加藤会長を議長に選出し審議を行い、15年度事業報告・収支予算、16年度事業計画・収支予算案などすべて原案通り可決承認した。

新年度事業計画は、技能者育成機関広報冊子・リーフレットの作成や高校生や訓練生を対象に木の伐採現場の見学会開催、健康住宅推進事業のほか、新規事業として、地材地建及びかごしま材取扱店の広報PR、かごしま材の家づくりへの性能保証登録支援などかごしま材の家づくりの普及促進－などを掲げている。

加治木町建設同志会総会

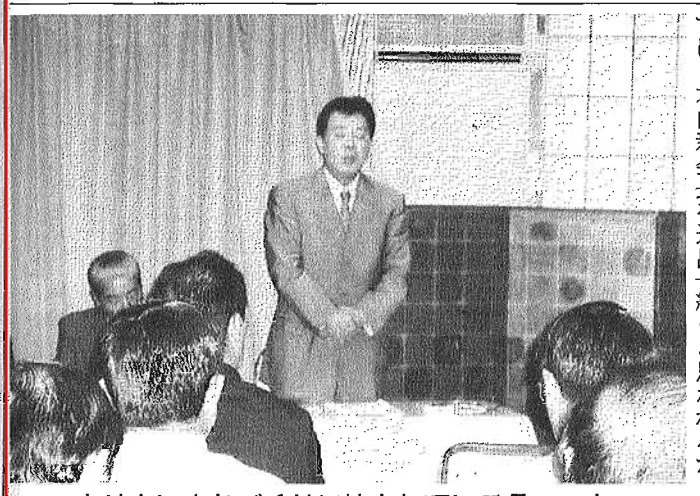
新会長に木山氏選出

木山裕継新会長

加治木町建設同志会（岩澤隆志会長）は17日、姶良郡加治木町のテラス10で第23回通常総会を開き、技術研修会や奉仕作業の実施等を柱とする新年度事業計画を承認するとともに、任期満了に伴う役員改選では新会長に木山裕継氏（第一建設㈱）を選出した。

総会の冒頭、岩澤会長は「本日、早朝からの奉仕作業に多くの参加をいただいたことに感謝申し上げたい。町の予算編成は厳しい状況が続いているが、公共事業推進には地域の理解が不可欠。共に努力を重ね、よりよいまちづくりに協力していこう」と挨拶。続いて垣内仁志氏（㈲垣内建設）を議長に、議事に入った。

議案審議では、15年度事業報告並びに収支決算、16年度事業計画案並びに収支予算案をすべて執行部原案通りに可決承認。任期満了に伴う役員改選では、木山新会長を選出した。木山新会長は「今後3年間は厳しい状況が続くと思われるが、われわれが今後どのような姿勢をとればよいのか、重大な問題を含んでいる。皆さまの絶大なご協力をお願いしたい」と就任の抱負を語った。



よりよいまちづくりに協力していこう――と挨拶する岩澤会長＝加治木町のテラス10で

新年度事業計画は、①会員相互の親睦を図り、会員一同協調の精神で諸問題に取り組む②工事の品質及び施工方法を向上させるために、技術研修会を行う（監督者研修会）③建設業を通じて、地域社会と明るいまちづくりに協力する④前記事項を推進するため奉仕作業・親睦会・研修会を行う⑤安全パトロールの実施－など。

新役員は次の通り。

会長＝木山裕継▽副会長＝梁瀬鉄憲（㈲梁瀬組）井上勝巳（㈱井上建設）愛下一（錦幸緑化建設㈲）▽専務理事＝岩澤英司（大英建設㈱）▽理事＝梅木則雄（梅木建設㈲）森木茂（㈲大洋水道）福里光典（福光設備工業㈱）松尾実（㈲技研電業）▽監事＝岩澤隆志（㈱岩澤組）市来精（㈲市来建設興業）

奉仕作業も

町道で草払いや清掃

加治木町建設同志会（岩澤隆志会長）は同日、総会に先立ち町道海岸通線、岩原西通線、明神南線、塩入線の4路線約3キロで草払いや道路清掃などの奉仕作業を行い、地域住民に感謝された。

当日は、同町文化会館加音ホール駐車場に集合した参加者、約50人を前に、岩澤会長は「来年2月には3町合併で錦江市になる見通しで、同志会としては最後の奉仕作業になるかもしれない。町民が散歩やウオーキングする憩いの場で気持ちよく過ごせるよう、心のこもった作業をお願いしたい」と挨拶。深浦卓二同町助役も「毎年恒例の奉仕作業であり、日頃から町民のよりよい住環境整備へご協力いただいていることに感謝したい。けがなどのないよう気をつけて作業を」と参加者を励ました。

黙々と作業する参加者＝加治木町の現地で

続いて梁瀬鉄憲副会長と岩澤英司専務理事が重機作業の誘導員配置等安全上の注意を促した後、作業場所や手順等を説明し、参加者は班ごとに作業場所へと移動した。

当日は早朝から真夏のような太陽が照り付け、刈払機やほうき、ごみ袋などを手にした参加者は、滴る汗をぬぐいながら、黙々と作業を続けていた。作業中、通りすがりに車を停め、お疲れさまなどとねぎらいの言葉を掛ける町民も数人いて、参加者は笑顔で応えていた。